

はじめに

国際教育研究センター長 中 植 正 剛

本年度で「国際教育研究センター」(International Education Research Center. 略称：IERC)は開設4年目を迎え、ここに国際教育研究センター紀要第4号を発刊いたしました。関係の皆様方には厚くお礼を申し上げます。

さて、紀要の第4号は、カナダ、イタリアの客員研究員のみなさまや学内からの研究論文ともに、学校法人親和学園の130周年を記念したさまざまな行事の報告が寄せられました。大学が多忙化する昨今の状況においても、少しずつ着実に教育・研究の成果が積み上げられた表れであるように思います。大学教育改革がさらに加速し、教職課程が大きく変わろうとするこの時期に、海外における教育事情や教育に関する知見から学び、新しい時代の大学教育あるいは教師教育を展望してゆくことが私達の務めであるように感じますが、本紀要がそのような一歩に寄与することを願いつつ、巻頭の言葉とさせていただきます。

最後に、本紀要の編集と発刊にご尽力いただいた編集委員の皆様と、いつも明るく国際教育研究センターの諸業務に邁進してくださる事務職員の皆様に感謝の意を表します。